

No.	19-1-14	場所	飯田市座光寺河原	次世代への継承キーワード
名称	屋根だけ残して埋まった民家			前兆現象 / 早期避難
災害現象	民家の被災			河川 天竜川本川
補足事項				支流

諏訪市 岡谷市 辰野町 箕輪町 南箕輪村 伊那市 高遠町 長谷村 宮田村 駒ヶ根市 飯島町 中川村 大鹿村 松川町 高森町 豊丘村 喬木村 上村 飯田市 南信濃村 清内路村 阿智村 浪合村 平谷村 下條村 阿南町 売木村 天龍村

概要	<p>下流の狭さく部である鷲流峡の影響で水位が上昇し、浸水被害が発生。弁天橋下流 300m 地点では右岸堤防が 500m にわたって決壊、家屋流出 2戸、床上浸水 22 戸の浸水被害となる。地域内の 75.4 ヘクタールが大量の土砂流出により平均 1.5m の埋没被害となり、堆積土砂によって農地、農業施設は壊滅的な状況となる。</p> <p>●体験談：災害当時、飯田市伊賀良小学校 5 年生</p> <p>「家があぶないで早くおいな。」 と言った。行って見ると、川の水かさがふえ流れがものすごくはやかった。するとうちの前の小さいセメントの川があふれて、ゆか下しん水になった。いっしょうけんめいにゆか下の水を出した。そのうちに、水がなくなってきたので、休んでいた。</p> <p>だんだん暗くなって夕方の六時ごろ、 「ドドドー」 と音をたてて、やねくらい高い波が横の川をおしよせて来た。ものすごい大きな石や、お宮の木くらい大きな木がながれてきた。すると、原さんのおばさんが家にはいったと思うまに原さんの家にまともにあたって、ものすごい音をたててこわれて、たおれて行った。「アッ」と思うまにそんなことがおこってしまった。おかあちゃんもおどろいて、ほかの人に、「原さんが家にはいっていったから、助けてやって。」 と言ってさげんでいた。おとうちゃんは、もう少しで流されていくところだった。おかあちゃんは、 「うちが流れる。」 となきさげんでいた。</p> <p style="text-align: right;">（「濁流の子」p.5 より）</p>
----	---

記 録



家の屋根だけを残して埋まった民家

出典	「語り継ぐ災害の記録」p.25/ 「濁流の子」 p.5
備考	

No.	19-1-14	場所	飯田市座光寺河原	緯度	35.527773
-----	---------	----	----------	----	-----------

名称	屋根だけ残して埋まった民家	経度	137.872646
----	---------------	----	------------

地図	広域図
----	-----



地図	詳細図
----	-----



備考	上記地図に表示されている、黄色の区域は「土砂災害警戒区域」（通称：イエローゾーン）といい、土砂災害のおそれがある区域を指します。また、赤色の区域は、「土砂災害特別警戒区域」（通用：レッドゾーン）といい、土砂災害警戒区域のうち、建築物に損壊が生じ、住民に著しい危害が生じるおそれがある区域を指します。
----	---